

横浜港新本牧地区護岸(防波)南側築造工事

発注者 国土交通省



本事業は、コンテナ船の大型化および貨物量の増加に対応するため、横浜港本牧ふ頭の沖合に大水深・高規格コンテナターミナルならびに高度な流通加工機能を有するロジスティック施設を一体的に配置した物流拠点である新本牧ふ頭を形成するものです。本工事は、施工場所が既設護岸から離れた海上で、最大5件の工事が隣接して作業する状況でしたが、綿密な作業調整を行い竣工することができました。

石垣港(新港地区)新港防波堤築造工事

発注者 内閣府



本事業は、石垣港(新港地区)に延長230mの傾斜堤の防波堤を築造するものです。本工事は、石垣港(新港地区)新港防波堤のうち100mの共通工、基礎工、被覆・根固工、測量工を施工しました。3次元データを活用するICT活用工事であり、被覆ブロック据付において3Dリアルタイムソナーを使用し、工事完了後にはマルチビームおよびUAVを用いた3次元測量を行いました。

R3荒川第二調節池基盤整備その2工事

発注者 国土交通省



本事業は、荒川流域の洪水防止対策として整備される荒川第二・三調節池事業であり、整備期間は2018年から~2030年までが計画されています。本工事は、荒川第二調節池の圍繞堤築造に伴う基盤盛土、管理用道路造成を施工し、国土交通省が推進する、建設現場にICTを活用し生産性アップをめざす取り組みのi-Constructionを導入しました。

令和4年度四日市港霞ヶ浦北ふ頭地区岸壁(-14m)地盤改良工事

発注者 国土交通省



本事業は、四日市港霞ヶ浦地区のコンテナ貨物量の増加および岸壁を使用する船舶の大型化に対応するために、岸壁を300m延伸するものです。本工事は、岸壁延伸に伴いサンドコンパクションパイル工法による海上地盤改良工事を施工しました。サンドコンパクション工法は、水はけのよい砂を杭状にした「砂杭」を軟弱地盤に打設し、地盤中の水を滲み出させることで地盤を改良するものです。

大堰台風力発電設備 土木・建築・付帯設備工事

発注者 株式会社日立パワーソリューションズ



山形県庄内町は、湯殿山・羽黒山とともに出羽三山をなす月山の山頂を有する町です。持続可能なまちづくりを進めるため、再生可能エネルギーの利活用や省エネルギーの普及・啓発・促進に取り組み、「庄内町ゼロカーボンシティ」を宣言しています。本工事は、風力発電設備12基を設置するための、用地造成や基礎工事を施工しました。

北陸新幹線、坂井丸岡高架橋

発注者 独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構



本工事は、北陸新幹線の金沢から敦賀までの延伸工事のうち、福井県坂井市において延長2,569mの高架橋を施工しました。現場周辺は、全線に渡り水田地帯に集落が点在しており、工事場所を農道や用排水路が多数横断していたため、農耕地に対して悪影響を及ぼさないよう細心の注意を払いながら、作業を行いました。

令和3年度西国東海岸保全事業 第3工区堤防地盤改良(その3)

発注者 農林水産省



本工事は、西国東海岸保全事業の一環として堤防陸側の地盤改良工事を行うものです。地盤改良には静的締固め改良工法(SAVEコンポーザー工法)が採用され、施工しました。同時期に同工種の工事が3件発注されたため、材料や人手を確保するのが厳しく、4週8休を確保して工期内に竣工させるのに苦労しました。

東用地MCLC危険物倉庫増設工事

発注者 三菱ケミカルエンジニアリング株式会社



三菱ケミカル物流株式会社の危険物倉庫は、岡山県倉敷市の水島臨海工業地帯に位置しています。本工事は、既設倉庫の操業中に行われたため、営業を妨げないよう留意することが重要となりました。また、危険物を取り扱う施設であるため、各設備に防爆を施した特殊な機器等を使用しました。

サンリヤン都府楼前新築工事

発注者 西日本鉄道株式会社



本工事は、西鉄「都府楼前駅」から徒歩3分の場所に3LDKの分譲マンション65戸を建設するプロジェクトです。外観は水平ラインを強調する軒や、バルコニー手摺ではアクセントに木目調の格子など、自然の温かみを感じる素材を採用し、太宰府天満宮楼門や参道に広がる木造建築物を参考にして、気品のある街並みを継承する意匠をしています。

伊豆市伊豆の国市新ごみ処理施設整備・運営事業に係る土木・建築設計、土木建築工事

発注者 伊豆市伊豆の国市廃棄物処理施設組合



本工事は、老朽化が進む伊豆の国市と伊豆市の4つの廃棄物処理施設を集約し新たなごみ処理施設の建設を行う工事です。ごみ処理施設の設計施工は、当社において初めて取り組みでありましたが、工期内に無事に竣工させることが出来ました。

福岡中学校改築工事

発注者 福岡県福津市



福岡県福津市は児童・生徒が増え続けており、福岡中学校に教室数30学級、生徒数1,200人対応の校舎を新築することになりました。生徒は、工事エリアの隣に建てられた仮設プレハブ校舎で授業を受けており、騒音・振動を伴う作業に関しては学校側と協議を重ね、特に定期テストや実力テスト時には時間調整するなどして工事を進めました。

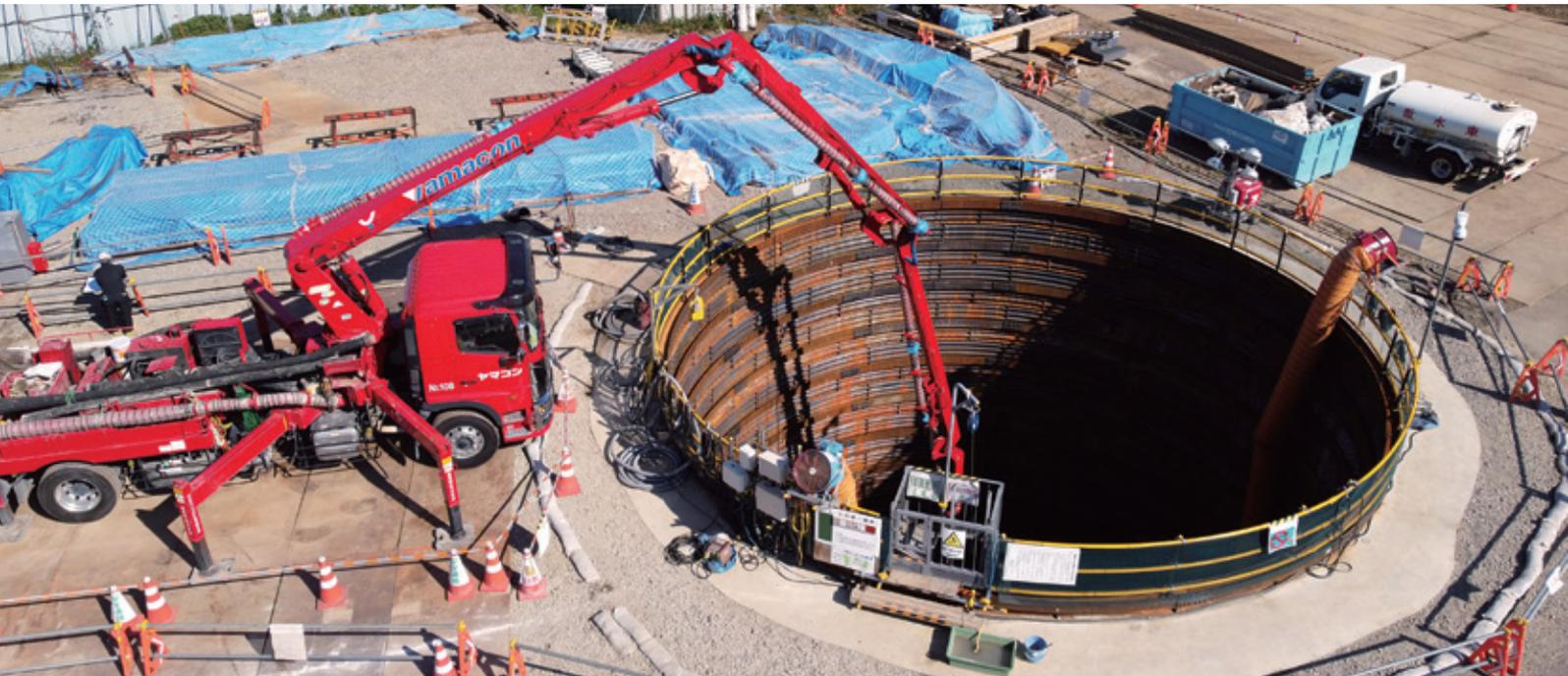
(仮称)熊本複合施設新築工事

発注者 株式会社ATS



2016年の熊本地震から7年が経過する中、熊本県御船町より復興のシンボルとして誘致され、温浴施設や飲食施設を併設した複合型宿泊施設「Mifune Terrace:ミフネテラス」が2022年11月にオープンしました。御船町の復興を明るく照らしていくという思いで名付けられ、施設と町が締結した包括連携協定と防災協定の拠点となるよう位置づけられています。

高架橋橋脚における大口径深礎工の出来形評価



八王子南バイパスの事業概要

東京都から長野県までを結ぶ一般国道20号線のうち、八王子市域における交通混雑の緩和や交通安全の確保、圏央道のアクセス道路としての利便性向上などを目的とした延長約9.6kmのバイパス事業です。

工事概要

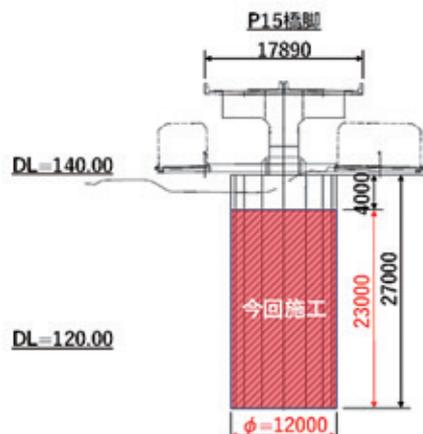
- 工事名：R3国道20号八王子南BP大船寺田高架橋 下部その5工事
- 工期：2022年3月～2023年3月
- 工種：鋼製橋脚 1基
大口径深礎工(杭径12m、杭長27m) 1本：
掘削土留:27m、コンクリート:2,601m³ほか



レーザースキャナによる3次元計測と点群データを用いた深礎工の出来形管理

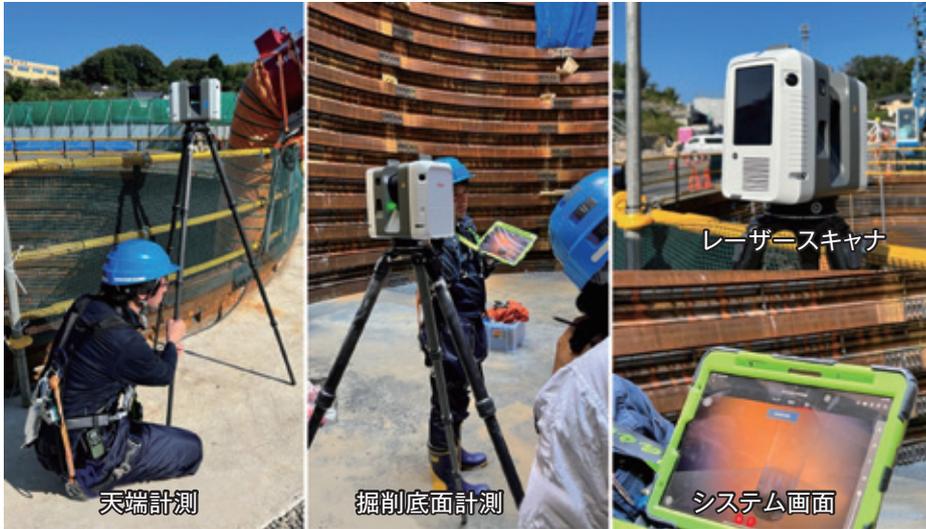
当工事は、BIM/CIMモデルの活用により建設生産・管理の課題解決や効率化を推進することを目的とした国土交通省によるBIM/CIM活用工事です。

そのため、当工事では橋脚基礎部の大口径深礎工の掘削における出来形管理にレーザースキャナによる点群データを活用する事により施工の高精度化や管理の効率化を図るほか、監督官による遠隔臨場への対応など、監督検査の効率化なども目的としています。

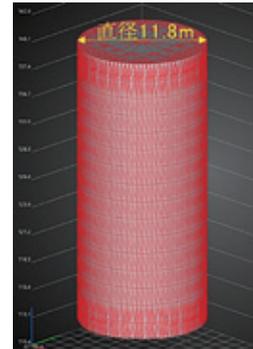
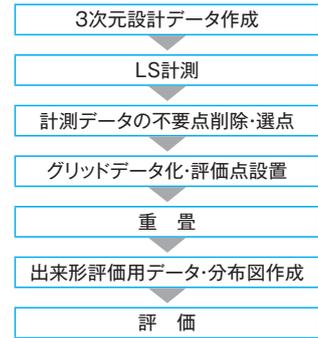


管理方法

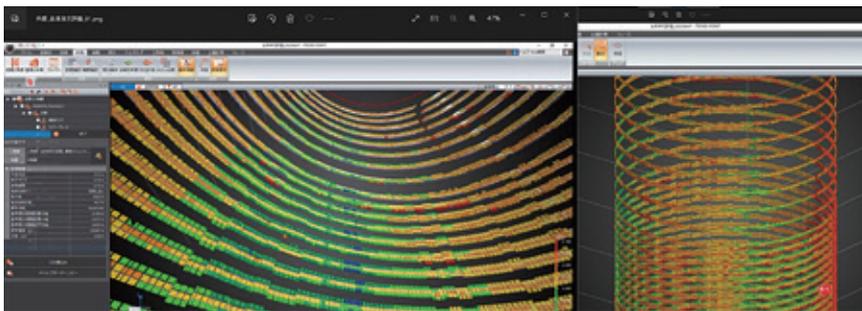
深礎杭の掘削面を直接計測できないため、土留めライナープレートにレーザースキャナで計測し深礎工の出来形として扱いました。



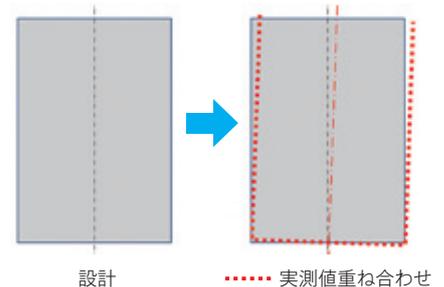
レーザースキャナによる計測



3次元設計データ



レーザースキャナによる点群データをヒートマップにより傾斜度を可視化



深礎工掘削出来形(傾斜)の点群計測結果と従来方法との比較

項目	従来方法(4箇所計測)	点群活用
傾斜(掘削中)GL-12m付近	0~1/300	1/545
傾斜(掘削完了)GL-24.9m付近	1/6225~1/478	1/944

※傾斜許容値 1/50

GL-12m付近、GL-24.9m付近とも点群活用と従来方法は同程度の結果が得られました。

レーザースキャナを活用した出来形管理の有効性

- 点群を活用した出来形管理の妥当性および検査の効率化の可能性が示唆されました。
- レーザースキャナによる計測は短時間で効率的に実施できるため、掘削中の計測頻度を従来より多くすることができ、計測結果を掘削作業にフィードバックすることで以降の掘削精度を向上させることができました。

圧着機構下における弾性波計測システム 「WIT-EWM system」

概要

「WIT-EWM system」は、岩石の弾性波速度計測方法（地盤工学会基準JGS 2564-2020）をベースにした弾性波計測システムです。

特徴

「WIT-EWM system」の特徴は次の2点です。

- ① 圧電セラミックス製の振動素子を組み込んだ発・受振子を用いる。
- ② 発・受振子間で供試体を圧着固定する機構を備えた弾性波計測機を用いる。

効果

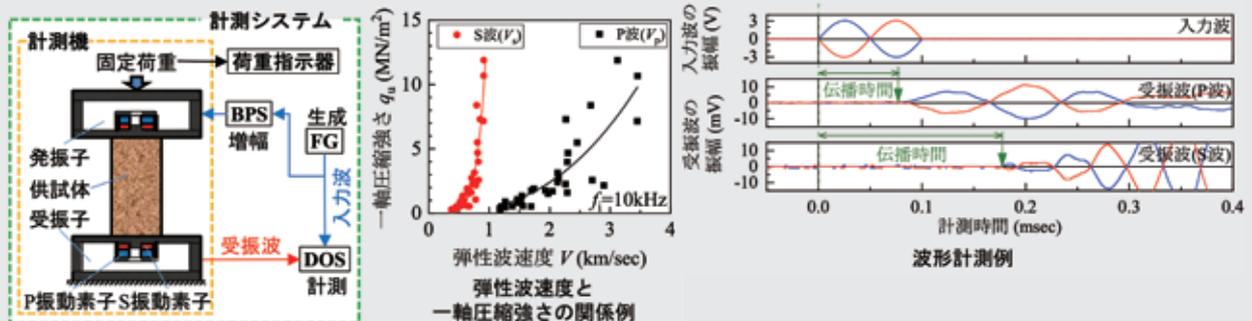
「WIT-EWM system」では、主に次の効果が期待できます。

- ① 供試体の設置・撤去が簡単にでき、一定圧力下での弾性波計測が実施できます。
- ② 弾性波計測結果は、改良土の一軸圧縮強さの推定などに利用できます。（特願2022-177918）



弾性波計測システム

計測システム概要図と結果例



「WIT-EWM system」は、圧電セラミックス製振動素子（発・受振子）を用いており、圧着機構下で弾性波速度を計測するシステムです。このシステムを使用してセメント系固化改良土の強度推定や内部欠損の評価に取り組んでいます。

コンクリートAI締固め管理システム

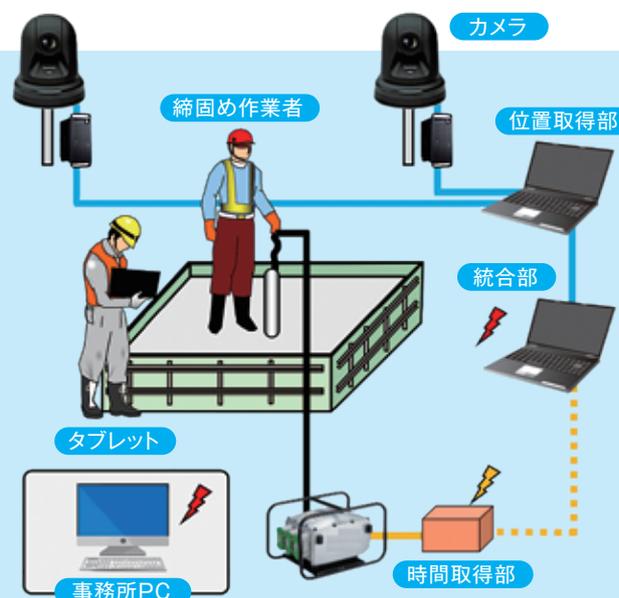
WIT Management System of Concrete Works Using Artificial Intelligence

～締固め作業の品質管理を自動化して施工の進捗を可視化

概要

本システムは、AIによる画像解析技術を用いて抽出した締固め作業者の位置情報と、バイブレータの信号により判定した締固めの時間情報を統合して、コンクリート打設の品質管理情報を可視化するシステムです。 **特許出願中**

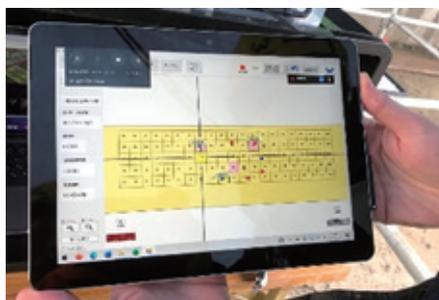
締固めの位置は4Kカメラで取得した作業者の画像を用いて骨格推定(ポーズ推定)することで検出され、締固めの時間はバイブレータ挿入時の信号を取得することでその良否を判定して、これらのデジタル情報をリアルタイムで情報共有することで、生コンクリートの品質管理を効率的に行います。



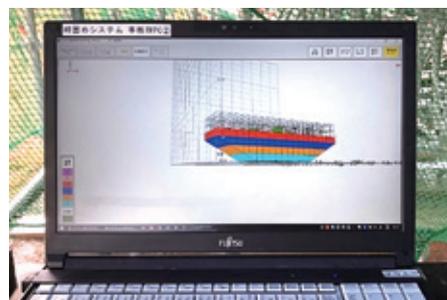
コンクリートAI締固め管理システム



作業者の骨格推定の様子



システム運用状況(タブレット)



施工の進捗状況

システムの特徴

- 締固めの位置は、画像解析技術としてディープラーニングを用いた学習アルゴリズムが適用されており、作業者の骨格推定(ポーズ推定)に基づいて適切に検出できます。
- 締固めの時間は、コンクリートにバイブレータを挿入した際の信号波形を取得して、締固めの室内実験と現場計測の評価結果に基づく判定指標によってその良否を管理します。
- 締固め作業時に取得したこれらのデジタル情報を平面および3次元の実物モデルに再現することで、施工現場だけでなく、離れた事務所においてもリアルタイムで施工の進捗を共有できます。

本システムの適用によって、従来目視で管理することが多かったコンクリート打設の遵守事項について、刻々と変化する締固め状況や施工の進捗を見える化でき、高品質なコンクリート構造物の構築と施工現場の生産性向上を実現できます。今後は、国土交通省が推進するi-Constructionの方向性に沿う形で本システムを積極的に展開し、建設現場におけるデジタルトランスフォーメーションを推進してまいります。

働きやすい職場環境

いきいき職場の創造

社員の健康と安全を重視し、「働き方改革」を進めていくことで、働きやすく働きがいのある職場環境の実現を目指し、会社・労働組合・健康保険組合が協調して活動しています。具体的には、育児・介護のための休業制度や、有給休暇取得の積極的促進、社員の心身の健康サポートなど、ワークライフバランスを向上させ、健康経営の促進に取り組んでいます。

また、新入社員の集合教育や階層別の研修制度、OJT制度、公的資格取得奨励の実施、働きたい部署や個人的な事情などを会社に申告できる自己申告制度など、社員ひとりひとりの適性や家族の事情に配慮し、安心して、意欲を持って仕事に取り組める仕組みを整備しています。変化するライフスタイルに合わせ、仕事の高効率化と職種に適応した「多様な働き方」を推進します。



若築建設奨学金制度

若築建設奨学金制度は、海洋国の礎を築く人材を育成するため、海洋利用開発に高い志を持つ高等専門学校生を対象として、奨学金の給付を行っています。「ものづくり」を通じて、「やりがい」や「達成感」が得られる建設会社において、活躍したいと考えている学生を応援します。

65歳定年制の導入

当社は、働き方改革の一環として、2020年4月1日から65歳定年制を導入しました。65歳定年制の導入により、長年培ってきた豊富な経験や高いスキル、様々な専門知識を持ったベテラン社員の更なる活躍を期待し、60歳以降も安心して働ける環境の提供を図っています。

当社では今後も働き方改革を進め、ベテラン社員・若手社員にかかわらず、多様な人材が安心して働き、活躍できるダイバーシティを推進することで、企業を継続的に成長させ、社会からの期待に応えられるよう目指します。

障がい者の雇用と活躍

障がいを持つ方が、障がいのない方と同じ職場で、その能力と適性に応じて活躍できることをめざし、働きやすい環境を整え、障がい者の雇用促進をはかっています。

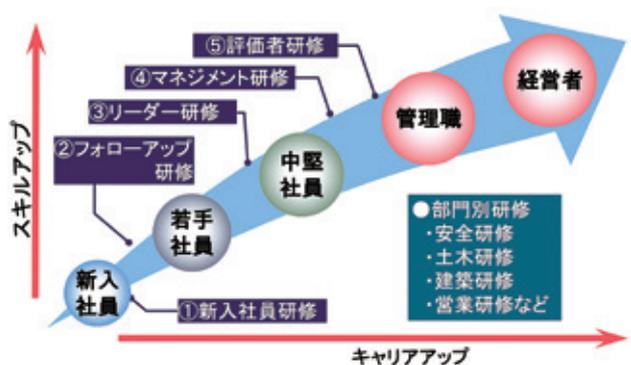
2023年6月時点で、障がい者雇用率は2.54%（法定雇用率2.3%）です。

わかちく社員教育プロジェクト『はぐくみ』

個々の社員が日々目標を持って業務に従事し、成長しながらキャリアを築いていけるよう、わかちく社員教育プロジェクト『はぐくみ』を立ち上げました。効果的な社員教育による若手社員の持続的な成長のため、以下の項目を実施しています。



キャリアパスと研修ロードマップ



1. 明確なキャリアプランの提示

従来、現場技術者に対してのみ設定していた階層別の必要スキルを、職種別で明確にしています。あわせて会社が期待するキャリアパスも提示することで、スキルアップへの意欲を高め自律的な成長を促します。

2. 階層別研修、部門別研修の充実

若手社員の前向きな意欲に応えられるよう、キャリアパスを踏まえた体系的かつ効率的な階層別研修を計画し、研修ロードマップを示します。働き方が急速に多様化していることを踏まえ、様々なキャリアに対応した部門別研修も実施しています。

3. クラウド型教育システムの導入

全国各地の現場職員に効率的な教育が実施できるよう、クラウドシステムを利用した教育システムを導入しています。これにより、一級土木施工管理技士試験の合格率が向上するなどの成果が上がっています。

健康の保持・増進

社員とその家族の幸せと、活力ある職場づくりには、心身ともに健康であることが重要です。当社は、若築建設健康保険組合と協力して、様々な健康増進策に取り組んでいます。

若築建設健康保険組合では、病気の早期発見・早期治療に役立つ特定健診や健康増進に役立つ特定保健指導を実施し、人間ドック補助金支給などを行っています。また、積極的な健康増進のために毎年実施しているウォーキング大会では、2022年度は被保険者本人及び被扶養配偶者172名が参加し、2か月間で50万歩を目指しました。他にも体育奨励事業があり、社員とその家族の様々な健康づくりを支援しています。



ウォーキング大会ルートマップ

健康相談窓口として、健康に関する不安や心配に電話でお応えする「ファミリー健康相談」、メンタルヘルスにつきましては、臨床心理士のカウンセラーとの電話および面接による「メンタルヘルス・カウンセリング事業」を提供し、社員とその家族の心身の健康増進と、問題への早期対応に努めています。

万一、社員やその家族が対象疾患と診断されたときには、専門医同士の相互評価に基づいて選出された優秀な専門医をご案内し、またはセカンドオピニオン取得をお手伝いする「ベストドクターズ®・サービス」を行っています。

当社で公開している個人向けの健康ポータルサイト「PepUp (ペップアップ)」では、自身の医療費データや健診情報等が閲覧できます。健康状態に合わせ、様々な情報配信を行い、生活習慣の見直しや、健康リテラシー向上に役立てています。

さらに医療費や健診情報等を科学的に分析し、保健事業を効率的・効果的に実施するためのデータヘルス計画を推進しています。

季節性インフルエンザの感染者が出た場合に業務に支障をきたす恐れがあるため、2020年度よりインフルエンザ予防

接種の費用を会社が全額負担し、予防に努めています。

新型コロナウイルス対策としては、2022年6月時点で3回目の職域接種が完了しており、希望する社員ならびに社員の家族を



PepUpの画面

対象に、当社・大本組・株木建設が共同して新型コロナウイルスの職域接種を行いました。

若築建設労働組合

若築建設労働組合は、スローガン【チャレンジと向上～「より魅力的な会社へ」、組合員一人一人の思いと声力が力の源～】を掲げて活動しています。組合員一人一人が主人公であり、気軽に意見を言い合える、一人の意見を皆が尊重し合える職場環境を目指し、より魅力的な会社へと労使で歩みを進めていきます。

毎年の活動方針は[1.労働条件の改善][2.コミュニケーションの充実]の二本柱で、主な活動内容は以下の通りです。

- ①生活の安定向上のための賃金交渉
- ②仕事と生活の調和(ワークライフバランス)を実現するため、休暇取得や時短等の促進
- ③会社側と意見交換・情報伝達の機会を増やすことで現状の相互理解・把握に努めると共に、制度や待遇改善に向けた積極的な提案を実施
- ④同業他社労働組合との労働条件改善に向けた情報交換
- ⑤組合員交流の活発化のためのレクリエーション活動や組合研修の開催



若築けんぽ



労使懇談会



労働組合若手研修会

「そんなもんだから」の一言に救われる職場復帰

～ママになったって現場で働きたい～

2023年4月に産休・育休を経て復職された九州支店 西日本事業部所属の佐藤結希さんにご協力いただき、仕事への思い、子育てに関すること、現場に戻られた経緯や、どう両立させているのか、先駆者の働き方についてお話しいただきました。



復職後の携帯写真は構造物、構造物、子ども、構造物の構図

私は現在入社9年目で、産休取得が7年目。この春、1年半ほどの産休・育休を経て職場復帰しました。現在の仕事は検査書類、竣工書類の作成が主で、現場で検査の立ち会いもしています。基本的に、17時に作業所を出て帰宅後、21時には子どもを寝かせ、私も一緒に寝落ちします。夜泣きもまだありますし、授乳は栄養というより精神的な安定剤として続けています。



育休中は子どもの写真や動画をたくさん撮りましたが、職場復帰したら携帯写真が構造物、構造物、子ども、構造物、構造物の構図で、子どもの枚数が減ったのが寂しいです。迎えに行っても子どもの顔を見た途端、仕事のことはどこかへいってしまいます。その日の失敗も引きずらず、気持ちの切り替えとなっています。

残業しないために仕事の効率を考える

夫が同業で、たまたま職場が住まいから近く、子供を送迎してもらえるため、現在はフルで働いています。夫の職場が遠くなれば私が送迎しますが、それまでは夫に任せています。

夫は協力的です。最初、家事・育児は私メインでしたが復職



後1カ月で「無理」と伝え、それから夫の分担が多くなりました。もともと家事全般ができる夫なので、この協力があるからこそ働けていると思います。

復職してまだ3カ月、出産前と比べればできないことが増えています。ただ、その時間の制限があるからこそ、仕事の効率を考えるようになりました。

以前にミスした場面を今はミスしないと言いたいところですが、ブランクがあり結構忘れていたことが残念ながら多いです。検査立会いにしても、これはどの業者さんに割り振れば良かったか、また物の名称も忘れていたことが多く、それはすごく歯痒いです。

ただ、以前よりは仕事を客観的に見られるようになったと思います。今までなら前のめりにしか見ていなかったものが、今はもう少し俯瞰的に見えるようになってきている気がします。



「そんなもんだから」の一言で救われた

子どもは体が弱く、よく熱を出していたので、復職後1カ月は働くこと自体を迷いました。早退や休みが多い勤務状況、今日1日、職場にいられるか分からない、明日出勤できるかも分からないという状態で、仕事も十分にできていない。また、保育園に預けて仕事をし、帰ってから寝るまでの数時間しか一緒にいられない。何のために仕事しているのかという思いにも苛まれていました。

そんな私に、上司の高村さんから「そんなもんよ、子どもは」と一声かけてくれました。気が楽になって、とても励まされました。





子どもが病気になった時のお迎えは基本的に私が行きますが、これは高村さんが「子ども第一」とおっしゃってくれたからです。子どもが熱を出した時こそ母親の方が良いだろうから、全然構わないと声掛けしてくれるので、安心してお迎えに行けます。

高村さんもお子さんが3人いらっしゃるの、一番の理解者でサポートしていただいています。

私が仕事と家庭を両立できているのは、高村さんの存在が大きいです。

私が経験した妊娠・出産・育休・復職の各タイミングで「こうした方が良い」と思ったこと、知っておくべき制度などをまとめ、九州支店の女性陣に送付しました。それにいろいろな情報が加味され、より良いものになればいいと思いますし、心境の変化や体へのダメージの大きさなど事前に周知してもらえれば、周りのサポートもしやすいと思いますので役立ててほしいです。

「私」を感じられる現場で働いていたい

私は働くのが好きで、結婚・出産をしても辞める選択肢がありませんでした。復職にあたり内勤も希望できましたが、毎日同じ場所で同じ方々と顔を会わせるよりも、現場でいろいろな職人さんと関わる方が性に合うので、元の仕事を望みました。人との出会いに仕事の面白さがあり、自分の思った通りに現場を動かしていくことに仕事の楽しさがあると思っています。

仕事をしていて一番嬉しいのは「私がいってくれたら」とか「私がいってくれたから」と、私の存在を肯定してくれる声です。業者さんや同僚が、私を頼ってくれることが一番嬉しく励みになります。

だから、子育てが落ち着けば、思いっきり現場仕事に携わりたいです。



業界に特化した保育施設を希望

子育ては女性だけのものではありません。この業界でも、男性社員が普通に育休を取得できる雰囲気になれば良いなと思います。そのためにも企業内保育について検討してもらえないものでしょうか。「けんせつ小町」で声をあげて、日連連や建設業全体にそういう動きをみせてほしいと思います。

今はどんな現場に配属されても、自宅の近くの保育園に通わせるしかありません。同業他社も巻き込み、建設業に特化した保育園



を合同で運営できれば、男性ももっと育児参加できるようになるのではないかと思います。

私自身、今の状況で2人目は正直難しいと思ってしまいます。妊娠・出産を難しいと思わないで安心して働ける環境にしたいと切に思います。

一人では無理。周りに感謝をしつつ甘える

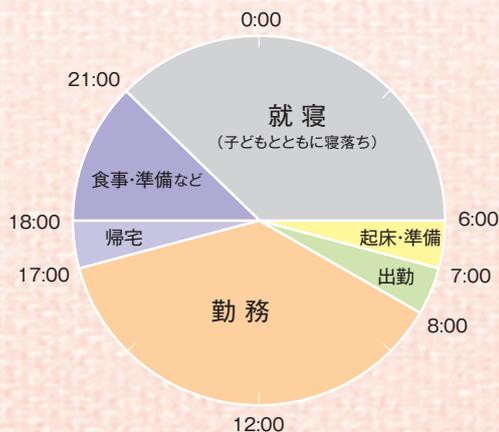
若築建設は、本当に優しい会社だと思います。妊娠・出産を経て職場復帰してあらためて思います。

この若築建設で私同様に結婚・出産を迎える後輩女性には、利用すべき制度をちゃんと理解することの他に、周囲の方にちゃんと甘えることを勧めます。

フルタイムで勤務するのであれば、一人では無理です。職場の理解と、夫をはじめとした周りのサポートが必要なので、感謝しつつ、甘えることです。何よりも働くあなたと、子どものためです。



一日のタイムスケジュール



Profile

サトウユキ
佐藤 結希

2015年入社
九州支店西日本建築事業部
九州建築作業所

健康経営優良法人認定制度とは、地域の健康課題に即した取り組みや日本健康会議が進める健康増進の取り組みをもとに、特に優良な健康経営を実践している法人を顕彰する制度です。当社は2021年11月11日に健康経営宣言を行い、推進計画と数値目標を設定し、取り組みを積極的に進めてきました。

主な取り組みとしては、50歳以上の社員または社員の配偶者を対象に、尿検査によりがんを早期発見する線虫検査(N-NOSE)を導入し、その費用を会社が補助しています。また、社員の健康保持・増進のため、スポーツジムと法人契約を結び、1回500円で利用できるワンコインプランを導入しました。その他、ヘルスケア研修の実施やクラブ活動の奨励、喫煙タイムの導入などがあります。

これらの取り組みが認められ、この度、健康経営優良法人2023の認定を受けることができました。



2023
健康経営優良法人
Health and productivity



線虫検査



登山部

健康経営宣言

当社は、「内外一致同心協力」という企業理念のもと、**社内外の誰もが健康な生活を送る権利を尊重します。**

企業活動やその発展が、“人々の健康を損なう”ことの上に成り立つようなことがあってはいけません。社員とその家族はもちろん、地球上すべての人が健康にそして安全・安心に暮らせる社会を目指し、3つの目標を掲げて“健康経営”に取り組んでまいります。

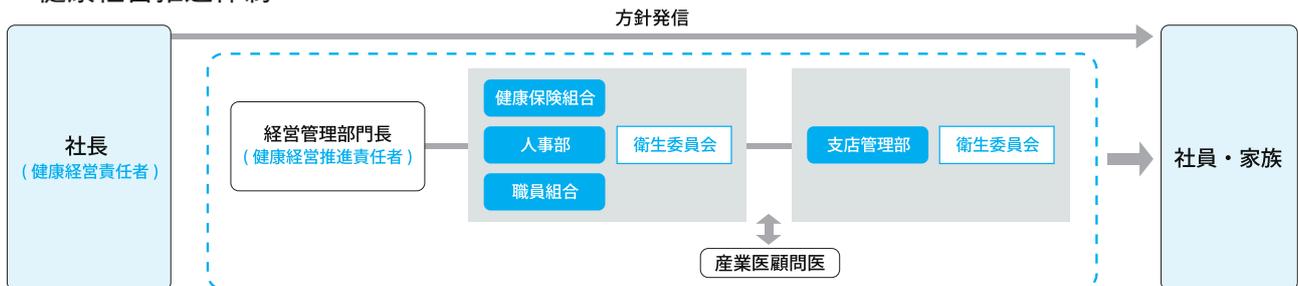
- 1. 心と体の健康を重視した職場環境づくり → **社員・家族の健康**
- 2. 社員個々のヘルスリテラシーの向上
- 3. 安全と地域環境に配慮した工事の運営 → **地域社会の健康**

社員、家族、地域社会の健康を守ることが、結果として企業価値を向上させ、持続可能な会社経営につながると考えています。

3つの目標

1. **心と体の健康を重視した職場環境づくり**
 - ・ワークライフバランスの重視
 - ・長時間労働のないストレスフリーな職場の実現
 - ・不調時の相談窓口の充実
2. **社員個々のヘルスリテラシーの向上**
 - ・健康第一原則の再認識
 - ・健康増進への意識と知識の積み上げ
3. **安全と環境に配慮した建設事業の運営**
 - ・建設工事における事故災害の防止
 - ・環境法令の遵守
 - ・交通安全の徹底

健康経営推進体制



2022年度の健康経営推進

課題	対応策
① 定期健康診断の要再検査の受診	・再検査受診有無のアンケート回答の勧奨、未受診の場合の受診の勧奨。 ・産業医により保健指導の有無を判断し、保健指導が必要な従業員には保健指導を行う。
② ストレスチェックの受検	・社内イントラにて受講を案内し、定期的を実施。 ・未受検者には、本社、支店の実施事務従事者から受検勧奨を実施。
③ トータルヘルスケア(ペップアップ)の登録	・健康経営推進委員会による未登録者への登録勧奨。 ・定期健康診断データの登録等、ペップアップの内容を充実させる。
④ 禁煙促進	・喫煙室の整備、禁煙促進ポスターの掲示。 ・平日の13:00~15:00に禁煙タイムを実施する。 ・喫煙による健康被害等の認識による意識改革を行う。
⑤ BMI数値(18.5~25.0)の適正化	・特定検診の結果に基づき保健指導を実施。